



## たのおぞ、まかせろ！

校舎改築中のため中野グラウンドで開催  
石見中学校の体育祭

9月  
定例会  
特集

今月の  
注目！

- |   |            |     |
|---|------------|-----|
| ■ | 令和4年度決算を認定 | (2) |
| ■ | 道の駅瑞穂 入札中止 | (4) |

# 令和4年度決算を認定

決算審査

## 令和4年度会計別決算収支

(単位：万円)

会計名	決算額			
	収入	支出	差引	
普通会計	一般会計	137億4476	133億8422	3億6054
	電気通信	5億4172	5億2703	1469
	小計	142億8648	139億1125	3億7523
公営事業会計	国民健康保険	13億1167	12億9888	1279
	直営診療所	1億2114	1億1349	765
	後期高齢者	3億8182	3億7838	344
	下水道	9億1335	8億9073	2262
	小計	27億2798	26億8147	4650
総合計	170億1446	165億9273	4億2173	
3年度	166億5992	163億6088	2億9904	
2年度	174億5282	171億7798	2億7484	
元年度	157億4032	154億6719	2億7313	
30年度	150億9392	148億2981	2億6411	
29年度	150億7024	147億4054	3億2969	

9月定例会を9月4日から15日までの会期で開催し、令和4年度決算を認定しました。決算認定以外の議案は「議案のゆくえ」(8ページ)を参照ください。

決算は、一般会計、特別会計ともすべて黒字となりました。また、水道事業会計も、収益、費用共に減少しましたが、2368万円の純利益を計上し、未処分利益剰余金は4838万円となりました。

決算審査は、9月6日から7日の2日間にわたって連合常任委員会にて審査しました。決算書、決算資料に基づき、予算執行内容の不透明なものや予算執行率の低いものなどについて質しました。また、町税や国民健康保険税、使用料などの収入未済額、不納欠損額についても質問しました。主な質問項目を記載し

## 令和4年度水道事業会計決算収支

(単位：万円)

水道事業	収入	支出	差引
収益的収入・支出	4億3912	4億444	3468
資本的収入・支出	3億4429	5億2096	△1億7667

## 邑南町の財布の中身は？ 財政指標等のようす

(単位：万円)

年度区分	令和3年度	令和4年度	対前年度増減率	
標準財政規模	71億7781	70億5131	△1.8%	
経常収支比率	90.3%	91.4%	1.1P	
健全化判断比率	実質赤字比率	—	—	
	連結実質赤字比率	—	—	
	実質公債費比率	14.1%	13.2%	△0.9P
	(単年度)	12.4%	13.0%	0.6P
	将来負担比率	80.6%	79.7%	△0.9P
職員数	217人	216人	△1人	
人件費	17億7339	18億724	1.9%	
人件費比率	13.1%	13.0%	△0.1P	
物件費	14億131	15億1027	7.8%	
普通建設事業費	12億3785	25億2209	103.7%	

注) 表の金額は万円単位で表示していますが実際の決算はすべて円単位までとなっています。千円単位で四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

- 消防団員の処遇改善
- 災害備蓄品の購入と管理の状況
- タブレット導入のメリット
- 窓口業務の改善の取組み状況
- 地域振興基金の活用
- 生活保護費増額の要因
- 児童クラブ支援員確保の状況
- 元気館トレーニング事業費の内訳
- 職員研修費の内訳

- 消防団員の処遇改善
- 災害備蓄品の購入と管理の状況
- タブレット導入のメリット
- 窓口業務の改善の取組み状況
- 地域振興基金の活用
- 生活保護費増額の要因
- 児童クラブ支援員確保の状況
- 元気館トレーニング事業費の内訳
- 職員研修費の内訳

- 業の課題解決は日本一の子育て村推進基金の使途
- 「おおなんきらりエネルギー」事業計画の見直し
- 農福連携事業の進捗状況
- 「食の学校」の今後
- 観光入り込み客数の内訳
- 災害復旧事業費の全額繰越の実情



森脇義博 代表監査委員

# 町の持続的発展のために 適切な財政運営を

## 森脇代表監査委員の決算審査報告

令和4年度は「持続可能な社会」づくり、SDG Sの波及」を予算編成のメインテーマに掲げ、さまざまな事業が実施されました。依然として新型コロナウイルス感染症が収まらず、多くの制約がある中での事業展開でした。普通会計の決算規模は大型建設事業が動き出していることなどで前年度より若干大きくなっています。決算状況において、普通会計、特別会計の実質収支は、い

ずれにしても依存財源が8割を占める本町は、厳しい財政事情は避けられません。町が持続的発展をしていくためには、基金の確保も必要とし、より適切な財政運営が求められます。また、「地方公営企業法」を適用している水道事業会計は、今年度も前年度並みの当期純利益を計上しましたが、これは

れも黒字となっており、決算指標は、標準財政規模の動きで悪化したものの、改善したものとされており、指標は毎年の財政運営の目安となります。審査の結果は、決算係数に相違なく適切に執行されたものと認めました。

一般会計からの補助金が営業損失を吸収したためです。水道事業は町民の生活に直結しているため、中山間地域の厳しい条件に変わりありませんが、コストの削減はもちろん、計画的な施設整備や改修が必要で、そのためにも専門的業務に対応できる人材の確保、育成が望まれます。

### 邑南町の貯金は？ 積立基金のようす

(単位：万円)

基金名	3年度末現在高	決算年度中増減額		4年度末現在高
		積立額	取崩額	
一般会計				
財政調整基金	5億293	1億8652	0	6億8945
減債基金	20億8969	1億1232	1億3719	20億6481
まちづくり推進基金	1億2653	2	2940	9715
地域振興基金	15億6488	0	0	15億6488
その他特定目的基金	8億9166	2億3875	2億8897	8億4144
合計	51億7568	5億3761	4億5556	52億5772
特別会計				
国民健康保険事業基金	1億1045	1271	1293	1億1023
生活排水処理事業基金	3046	0	0	3046
下水道事業基金	3664	0	0	3664
電気通信事業基金	9769	2244	413	1億1600
合計	2億7524	3515	1706	2億9333
総合計	54億5091	5億7276	4億7262	55億5106

### 邑南町の借金は？ 地方債のようす

(単位：万円)

会計名	3年度末現在高	決算年度中増減額		4年度末現在高
		発行額	償還額	
一般会計	132億9501	15億3625	14億4898	133億8228
特別会計				
直営診療所	1億9916	190	191	1億9914
下水道事業	46億8225	1億2860	4億8656	43億2429
電気通信事業	1億7198	2億1640	3338	3億5500
合計	183億4840	18億8315	19億7083	182億6072

### 国や県からの歳入財源の推移（一般会計）

(単位：万円)

項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
地方交付税	68億1612	66億9789	65億6664	62億3746	59億7932	58億7856	59億2266	62億5339	62億4152
国庫支出金	20億4907	13億9820	9億747	7億7809	8億5716	8億3450	24億5458	15億2881	14億1899
県支出金	13億9159	11億4314	9億4022	8億8716	9億1649	10億2494	10億3522	10億6801	14億8934

## 道の駅瑞穂建築工事

# 再度の入札も中止

1回目の入札公告では、特別共同企業体の代表者は島根県内に主たる営業所を有する者でした。2回目の入札公告では、島根県内または広島県内に従たる営業所を有する者に加え公告しましたが再び入札中止となりました。

1回目の入札が、入札参加辞退届の提出により中止になりました。

8月24日の産業建設常任委員会において、議員から全体の工期、事業費への影響について

質問があり、入札の時期がずれても、全て予算内で執行され、スケジュールも当初考えていた計画に大幅なずれはない、と説明がありました。

9月5日の全員協議会において、設計図書の変更についての議員からの問いに、設計変更をせず入札参加者資格の範囲を広げること

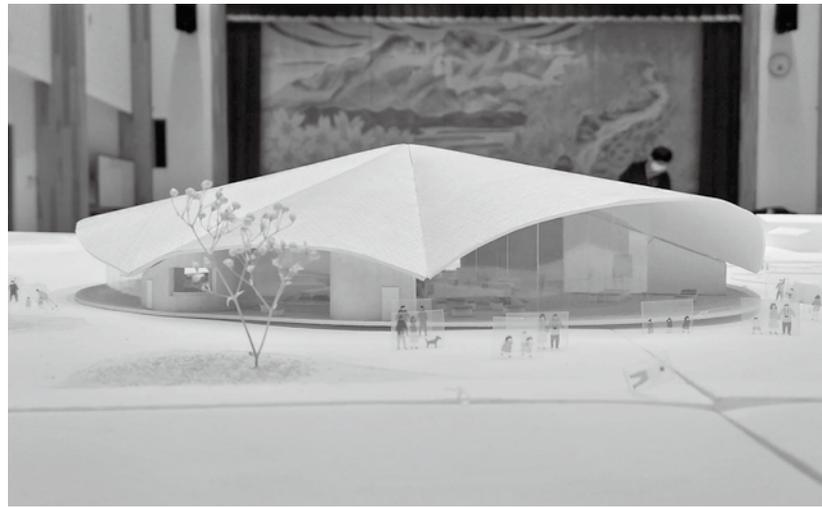
した。

しかし、2回目の入札公告後、閲覧に来た業者はありましたが、申込者はなく、2回目の入札も中止となりました。

9月14日の全員協議会において、今後は設計の見直しで想定されるが、スケジュールの変更はなく、全体の事業費にも影響を与えないよう指示をする、と説明がありました。

入札が成立しない中、道の駅の名称選考が進んでいることにも疑問の声があり、議会としても今後の動向に注視していきます。

で応札者があると判断した、と説明がありました。



設計者が提示した完成模型  
独特な屋根形状が特徴的

## いいの村しまね 指定管理の方針示す

現在の指定期間令和6年3月31日に期間終了となります。

次期指定管理者の募集について方針が示されました。それによると、指定管理期間は5年間とし、公募を考慮しています。

### いいの村しまね

## 指定管理の方針示す

利用料収入が見込め、最低限の管理経費が確保できる見込みがあるため、指定管理料は支払わず、条例で定める部分の収入の5%の納付金を課します。

8月24日の産業建設常任委員会での説明に

対し、議員から指定管理期間中に経営継続が困難になった場合の危険が指摘されました。

それを受けて、9月5日の全員協議会で、指定期間中であっても、指定管理者の継続が適当でないことを認め、指定を取り消す場合がある旨を明記することが示されました。

今後のスケジュールは、9月下旬から公募を開始します。説明会を実施後、11月中旬に指定管理者の選定委員会を開催し、12月定例会で次期管理者が提示される予定です。

## IP電話がなくなる？

今年の7～8月に発生した落雷により、TA（IP電話用機器）約180台が故障しました。

現在のTA在庫状況は50台を下回り、交換が困難な状況です。製造は中止されており、中古品を探すなどの対応はしていますが、見通しはたっていないません。IP電話を使用しないご家庭から回収して利用することや、新たな電話サービスとして、ケーブルプラス電話等を検討中です。

また、今後は全戸無料のIP電話サービスを改め、希望者のみ有料の才

ある旨を明記することが示されました。

この説明を受け、議員からは、IP電話しかない家庭は今後どう対応していくのか。料金体系の見直しをしてから、町民に説明すべきではないか、などの意見が上げられました。

プシヨンサービスとし、使用されない方は、基本料金の値下げなどの案が示されました。

執行部からは、まずは今の在庫と中古品の調達をして維持することに努めていきたいという考えと、料金体制の見直しには時間が必要という説明がありました。

## 下水道使用料

# 料金値上げを可決

9月議会において、邑南町公共下水道の使用料条例の一部改正について提案されました。これに対し、産業建設常任委員会、全員協議会、質疑等で議論があり、持続的で安定的な事業運営のためには値上げは必要とし、可決しました。

本年6月議会で、上下水道委員会からの答申を受けて、水道課より内容の説明がありました。(本紙85号で報告) 議員からは、値上げをする動機は何だったのか。令和4年度の決算では赤字なのに、なぜ値上げをする必要があるのか。今後、算定期間中でも値上げをすることがあるのか。などの質問がありました。

令和6年4月より、特別会計から地方公営企業会計に移行します。公営企業法では、下水道事業に係る経費(生活排水の処理にかかる費用)は使用料で賄うことが原則になっています。将来の見通しを

立て、適切な使用料対象経費を設定することが必要です。令和4年度では、5億7000万円の一般会計からの\*1繰入金があります。その内

- \*1繰入金  
自治体の一般会計からの補助費など
- \*2基準内繰入金  
国からの財源措置が行われるので、一般会計による負担は発生しない。
- \*3基準外繰入金  
国による措置がなく、増える一般会計の負担が大きくなる。

の\*2基準内繰入金額は4億8000万円です。この差額の9000万円が\*3基準外繰入金で使用料に反映されることになり大幅な値上げになります。そのため、令和6年度から5年間の算定期間内においては、物価高騰が続く中、町民の生活を考慮し下表の使用料に設定しました。

	基本料		世帯員割	
	現行	改定	現行	改定
一般家庭	1650円	1870円	550円	605円
事業所	1650円	1870円	使用人員の料金を加算	

使用料(1箇月あたり)

(税込み)

## 観光産業高付加価値化事業補助金決定

地域一体となった観光地観光産業の再生・高付加価値化事業が8月8日付で国から採択されました。

とし、宿泊観光施設の改修等で11件、実証実験と面的DX化がそれぞれ1件ずつの13件、1億4214万1500円(税込込み)の総事業費です。

く、空き家を有効活用し、多くの人に町に来てもらいたい。

- 町が目標とする交流人口、関係人口の増加に繋がることに期待する。
- 補助金が使われた事業であり、5年未満で事業中止する場合は補助金の返還が発生する。年度ごとのヒアリングの必要がある。

邑咲館玄関と野球部生徒



## 邑学館新館別棟(邑咲館)竣工式を開催

おおさきかん

邑学館新館別棟の建設については、令和4年9月と12月に度重なる増額補正予算が組まれ、議会としても予算の増額補正が安易で頻繁ではないかと、議論が交わされてきました。このような紆余曲折がありました。や

つと9月末日に完成し、10月29日に竣工式が開催

されることになりました。研修施設の愛称選定が行われ、「邑咲館」と決定されました。部屋も2人部屋となり、新しい学びの場として、矢上高校の生徒さんが快適に過ごしていただくことを議会としても望んでいます。

## 討論

インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める陳情

賛成

日高八重美 議員



インボイス制度は、税率変更を伴わない消費税の増税である。開始されれば、コロナ禍や物価高の影響を受ける中小企業やフリーランスに大きな足かせとなる。よって制度の実施延期を求める陳情に賛成する。

令和4年度国民健康保険事業特別会計決算認定

反対

日高八重美 議員

令和4年度の国保税滞納額は2424万円余である。

国民健康保険の加入者は、農業者、自営業者、非正規雇用の方が多い。コロナ禍や物価高騰の影響で国保税を払いたくても払えない人もいる。

そうした加入者の実態を調査し、皆が払える国保税への引き下げをすべきであったと考え、この認定に反対する。

下水道使用料条例生活排水処理施設使用料条例

反対

日高八重美 議員

今回の値上げは、令和6年4月からの公営企業会計導入による既定路線だ。

下水道事業は快適な暮らしに欠かせず、節約したり使わないという選択肢はない。

コロナ禍や物価高騰の影響で厳しい生活状況下にある弱者への配慮が必要だ。よって、この条例に反対する。



日和農業集落排水処理施設

賛成  
大屋光宏 議員



今回の値上げは、料金の算定で使用者が負担すべき経費を明確にし、下水道委員会の答申を受けており、必要な措置と考え賛成する。

値上げ幅も、算定上は40%の値上げが必要なところを10%に抑えてあり評価する。

値上げ後も一般会計からの法定外繰出しは必要となるが、下水道区域外でも浄化槽を設置することで同様のサービスが受けられ、不公平感は生じない。

ただし、物価上昇により生活費の負担感が増す中での値上げなので、丁寧な説明を望む。

## 陳情・請願と意見書

加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度の創設を求める請願

採択



総務教民常任委員会  
平野委員長

令和4年6月議会からの継続審査で、1年間議論を続けてきた。採択すべきという意見と、福祉政策の観点から加齢性難聴者に限定した審査では不十分との意見もあり、結論を得るに至っていない。

今回の議論の中で、請願者に対して継続審査を続けることを委員会のあり方として疑問視する意見もあった。

この請願の願意そのも

には賛成であることの確認と、請願内容以外の福祉政策の課題については、委員会運営の中で議論を深めることを確認し、採択とした。

加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度の創設を求める意見書

現在、国の補聴器購入助成は、障がい者手帳を持つ高度・重度難聴者が対象である。障がい者に該当しない、中・軽度難聴者の多くは「コミュニケーション」を半ば諦めた日々を送っている。

全国での補聴器普及率は13・5%とヨーロッパ先進国の30〜40%と比較してもかなり低い。補聴器の普及向上が求められている。

しかし、補聴器の価格は高額で、保険適用外であり、低所得高齢者に対する配慮が必要である。補聴器が普及すること

により、うつ病や認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながると考える。

以上のことから、国においては、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度を創設されるよう強く求める。

### 採択

#### 森林環境譲与税の譲与基準見直しについての陳情



#### 産業建設常任委員会 瀧田委員長

森林環境譲与税は、総額の50%を私有林人工林面積、30%を人口、20%を林業就業者数に応じて配分されている。このため、森林面積が少なくても人口の多い大都市への配分額が多くなっている

この指摘もある。

また、森林整備に使われず、基金に積み立てられている問題もある。現在の配分基準では、森林整備を促進する財源とならない恐れがある。これらの点から、配分基準を見直すべきとして採択とした。

#### 森林環境譲与税の譲与基準見直しを求める意見書

森林環境譲与税は、森林の持つ多様な機能を十分に果たすため、森林の整備等に必要な財源を安定的に確保することを目的に創設された。

しかし、山間部の市町村では森林所有者への意向調査を行っているが、所有者不明や境界未確定森林の存在により想定外のコストが見込まれる。森林整備や人材育成、担い手確保等にさらなる財源が必要となっている。よって、国においては以下の事項について譲与基準の見直しを講ずることを要望する。

1. 循環型林業の推進のために、森林環境譲与税は森林整備を真に必要とする森林の多い山間部の市町村への配分割合を高めること。
2. 私有林人工林面積とされている算定基準に、私有林天然林面積を含めること。

#### 不採択

#### インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める陳情

#### 産業建設常任委員会 瀧田委員長

6月議会からの継続審査であり、再度の継続審査の意見もあったが、10月1日の制度開始が決定した中で意見書を提出することの整合性を疑問視する意見もあった。

制度実施後の動向を注視し、今後の対応を判断すべきとして、不採択とした。

### 令和5年度9月補正

	当初予算の額	6月補正後の額	8月補正額	9月補正額	9月補正後の額
一般会計	159億7100万円	161億133万円	1953万円	4億5058万円	165億7144万円
国民健康保険	13億2000万円	13億2535万円		1233万円	13億3769万円
直営診療所	1億3450万円	1億2694万円		58万円	1億2752万円
後期高齢者医療	3億7350万円	3億7350万円		265万円	3億7615万円
下水道	10億4000万円	10億4112万円		△1748万円	10億2364万円
電気通信	5億6800万円	5億6800万円		596万円	5億7396万円
特別会計合計	34億3600万円	34億3492万円		403万円	34億3895万円
総合計	194億700万円	195億3625万円	1953万円	4億5466万円	200億1039万円

### 令和5年度水道事業会計9月補正

		当初予算の額	9月補正額	9月補正後の額
収益的収支	収入	4億2563万円	—	4億2563万円
	支出	4億1591万円	437万円	4億2028万円
資本的収支	収入	3億8346万円	759万円	3億9105万円
	支出	5億7692万円	1427万円	5億9118万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

## 8月臨時会 議案の ゆくえ

「工事請負契約の変更契約の締結」は、道の駅瑞穂再整備事業、敷地造成工事の変更契約です。

「財産の取得」は、石見中学校のカーテンの購入です。

「一般会計補正予算第3号」は、令和5年6月災害の災害復旧費の追加です。

「一般会計補正予算第4号」は、いわみ温泉活用施設等改修事業費の薪ボイラー設置事業費の追加です。本紙85号でお知らせした補正予算の撤回

に関するものです。

7月28日の産業建設常任委員会、8月2日の全員協議会で、いわみ温泉活用施設を含めた「香木の森公園」全体の収支見込みを含んだ運営計画と、いわみ温泉活用施設の省工ネ改修計画が示されました。

議会では、令和7年度からの「香木の森公園」全体の指定管理に応募が

なかった場合の危惧や、指定管理料と納付金の考え方などに疑義を示しました。また、指定管理予定者を早めに決定して一緒に検討することなどを提案しました。

町長は、これまでの議会からの意見を参考にしながら進めたいと答えました。

## 9月定例会 議案の ゆくえ

決算認定以外の主な議案を紹介します。

「人事案件」は、人権擁護委員の推薦に関して町長が意見を求めるもので、すべての案件に「意見なし」としました。

「財産の取得」は、石見中学校の家具の購入です。

「情報通信施設条例の一部改正」は、インターネットサービスに通信速度の速いサービスを追加するものです。

「研修施設条例の一部改正」は、邑学館新館別棟の完成に伴うものです。

「水道事業の設置等に関する条例の一部改正」は、令和6年度から下水道事業を八公営企業会計に移行するためのものです。

「下水道使用料条例の一部改正」と「生活排水処理施設使用料条例の一部改正」は、下水道使用

料金を値上げするものです。(5ページ参照)

「一般会計補正予算第5号」の歳入の主なもの、地方交付税、国県支出金、繰越金の追加です。

歳出の主なものは、財政調整基金と減債基金の追加、観光庁「観光産業高付加価値化事業」補助金(5ページ参照)などです。

「一般会計補正予算第6号」「電気通信事業特別会計補正予算第2号」は、7月から8月にかけて発生した落雷被害の復旧費用の追加です。

他の特別会計補正予算は、繰越金の繰り入れに伴う補正などです。

「請願・陳情」は、3件ありました。6ページをご覧ください。委員会発委は、意見書の提出が2件ありました。

「加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度の創設を求める意見書の提出」と「森林環境譲与税の譲与基準見直しを求める意見書の提出」です。6〜7ページ「意見書」をご覧ください。

### 8月臨時会 全員賛成にならなかった議案 ○=賛成、●=反対、- =除斥、欠=欠席

区分	議案の内容	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	和田	宮田	漆谷	大屋	中村	辰田	結果
予補正	令和5年度一般会計補正予算第4号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	可決

### 9月定例会 全員賛成にならなかった議案

区分	議案の内容	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	和田	宮田	漆谷	大屋	中村	辰田	結果
決算認定	令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
条例	下水道使用料条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	生活排水処理施設使用料条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める陳情	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択

# いっぱん 質問

## 質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	大屋 光宏	(1) コロナ禍の反省から (2) 新たな農業施策の展開 (3) 下水道使用料の値上げ	10
2	鍵本 亜紀	(1) ぶどう神紅の産地化と有機農業 (2) A級グルメと子育て村のその後	11
3	日高 八重美	(1) 子育て支援 (2) 高齢者への支援 (3) 安心して暮らすための要望	12
4	宮田 博	(1) 令和4年度行政活動評価 (2) 内部統制とリスクマネジメント	13
5	平野 一成	(1) A級グルメと子育て村の事業成果 (2) L G B T 理解増進法が男女共同参画に 与える影響	14
6	辰田 直久	(1) 道の駅改修に伴う今後の財政負担 (2) 指定管理や業務委託のあり方 (3) スポーツ振興の必要性 (4) 公用車の稼働状況と安全運転対策	15
7	野田 佳文	(1) インバウンド (2) 再整備後の道の駅瑞穂の情報発信 (3) 久喜銀山遺跡 (4) 生活交通の提案	16
8	中村 昌史	(1) 「地域コミュニティのあり方検討委員会」の報告と町の方針	17

一般質問とは・・・議員が町の行財政全般について、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。通告制であり、本町では一問一答方式、制限時間60分としている。

## ガツテン!! 一般質問

今定例会では8人の議員が登壇しました。私も、議員3年目になり、何度も一般質問してきました。何度しても緊張から手が震え、答弁に対し、予想し用意していた再質問や資料などがうまく使えず、悔しい思いをしてみました▼堂々と質問されている先輩議員に、「緊張されないんですか?」と質問したことがあります。先輩は、私も何年たっても緊張して手が震えそうになるよと、笑顔で答えていただきました。その話を聞き、議員全員、いろいろな思いや意見を背負って、登壇されているんだなと感じ、ほんの少しですが、気持ちに余裕が持てるようになってきました▼今後も、しっかり質問していけるように頑張りたいと思います。

奈須正直 記

おおやみつひろ

大屋光宏 議員

# 若い農業者の声をどう生かすか

## 町長 学ぶ姿勢で仕組みをつくる



大屋光宏議員

矢上高校産業技術科から島根県立農林大学校への進学が増加、地域おこし協力隊制度を活用した農業研修制度の充実及び農林業後継者育成奨学金制度の創設などにより、邑南町の新規就農者は増えている。

特に従来は皆無だった20歳代の若い農業者が増えていると感じているが実態はどうなのか。

白須産業支援課長

本年4月1日現在で、20歳代の農業者は10名、30歳代の農業者は6名である。30歳代のうち1名はすでに就農後10年を経過している。

大屋議員

一般に農業はたいへん

で後継者がいないといわれているが、邑南町の現状はまったくちがう。従来は20歳代の農業者は皆無だったが、現在は10名もおられる。すごいことである。

これからの農業施策は、若い世代の農業者の声をどう生かしていくかが大事と考える。しかしながら、この地域には農業に対するネガティブなイメージや、偏見・差別・職業蔑視が存在する。まずは、これらを改めなければ若い世代の貴重な意見が生かされないと思う。町長の見解は。

石橋町長

A級グルメの施策をやるめるといふ記者会見をしたとき、農業者に対する尊敬がなければ、すべての農業施策はうまくいかないという反省をした。

農業はやればやるほど、工夫ができて、達成感が持てる職業であると考えられている。行政は、若い農業者が創意工夫をして農業をしているのを学ぶ、という姿勢が大事である。



収穫作業をするアグサポ隊

そのうえで、若い農業者の声を邑南町の農政に反映できる仕組みづくり、あるいは意見を十分に汲み取る仕組みづくりを行っていきたい。

答 長年

改定していない

沖野水道課長

町が行う下水道事業は、家庭等から出る生活排水の処理にかかる経費は使用料で賄うのが原則であるが、邑南町は地形等から建設コストが割高になることから、総務省から公費で一定額を負担することが認められている。

現況は、人口減少と合

問 下水道使用料

値上げの理由は

大屋議員

令和6年4月から下水道使用料を10%値上げする理由は

その他の質問

その他に大屋議員は、コロナ禍の反省から災害対策のための財源の確保と県内からの観光客の誘致について質問しました。

併以来使用料改定をしていないため、総務省から公費で負担することが認められている額以上の公費負担をしている。

このため、令和6年4月から下水道事業が公営企業会計を適用するにあたり、上下水道委員会に料金改定を諮問した。

答申内容と今後の設備更新にかかる費用、他自治体との比較、人口動態および社会情勢などを総合的に判断して、約10%の値上げを決めた。

かぎもとあき

鍵本亜紀 議員

# ぶどう神紅の産地化と 有機農業推進の整合性は

## 課長 それぞれ重要だ



**鍵本亜紀議員**

神紅栽培は薬剤を一定量使うよう指導される。有機で作れるぶどうではない。リースハウスのための土地の造成も盛んに行われている。邑南町は有機栽培を推奨し、オーガニックビレッジ宣言もしているが、神紅の産地化をめざすこととの整合性は。

**白須産業支援課長**

神紅の産地化、有機農業推進、多種多様な農業に対応する意味で、どちらもそれぞれ重要だ。

**鍵本議員**

神紅は都会に向けて高値で売るものだと思うが、A級グルメをやめて今は地産地消とした。わざわざA級グルメの文言

を取り下げなければ、神紅のPRにうってつけたのに残念だ。町が何がしたいのか見えてこない。

A級グルメの文言を使わない事はもったいない。「A級やめます。永久はじめます」のキャッチフレーズを、新しい道の駅でも使って売り込んでいけばいいと思うがどうか。

**白須産業支援課長**

色々な意見を聞いて、今後の参考にしていこう。

**問 効果検証の説明は**

**説明は**

**鍵本議員**

子ども条例は具体的にどのように活用していくのか。

**田村地域みらい課長**

子育ての取り組みをする後ろ盾としての条例なので、どのような子育て支援をしていくかで、町民に示していく。

**鍵本議員**

保護者や事業者にむけての項目が書かれているのだから、該当者には知

らせるべきだ。そこから展開も期待できる。

子育て日本一の魅力も色褪せて、子育て人口も増えない。町長の公約通り地域の小中学校を存続させたいが、このままでは、子どもも減る、教員も足りない。学校の運営も厳しい。将来的に、小中学校は統廃合せざるを得なくなる。もつと悪あがきでも、子どもを増やす努力をして欲しい。

五感を使つての体験からくる感動が、これからの時代を生きる子どもたちに必要だ。町内の助産師さんが北広島町などと呼ばれて、赤ちゃんとの触れ合いや命の授業をされている。邑南町でもやって欲しい。

**田村地域みらい課長**

子育て村を始めた当時、赤ちゃん登校日というのを小学5年生を対象にやっていた。コミュニケーション能力、命の尊さなどを育むと言われ高く評価されたが、来てもらう母子との調整が難しく2

年で終わった。今後の参考にしたい。

**鍵本議員**

A級グルメも子育て日本一も、効果検証をして町民の理解を得ることが大事だが、町民に説明しているか。

**答**

**説明している**

**白須産業支援課長**

広報や、ケーブルテレビの行政連絡員会議でも

説明した。

**田村地域みらい課長**

中山間地研究センターと連携して効果検証した。日本一の子育て村構想の振り返りを広報に掲載している。

**鍵本議員**

それなのに町民に理解されていないのはなぜか。町政は町民のためであるのだから、何をやっているのか明確に示し、わかりやすく見える化していくべきだ。



ぶどう神紅のリースハウス用地の造成が進む

ひだかやえみ  
日本共産党 日高八重美 議員

# 18歳までの医療費無料化を

## 課長 来年度実施に向けて検討中



日高八重美議員

子どもの医療費は、当時の子育て村推進本部会議において、「保護者への経済的な負担軽減策は十分である」とのことから、中学生までの無料化にとどまっている。「十分である」との根拠はなにか。

田村地域みらい課長

子育て村構想を始めた平成23年度においては、保育料第2子以降完全無料や、中学校卒業までの医療費無料などは、子育て世代に対する経済的な施策として始めた。山陰両県では初の取組みであり、本町の子育て支援施策を参考にする自治体も多くなった。そのような状況下で、経済的支援の

水準を高くするのではなく、地域で子育てを実現する施策に取り組みべきとの本部会議の意見を尊重した。現在は、構想の理念は子ども条例に引き継がれ、子どもの健やかな成長を支援するために検討を始めている。

坂本保健課長

県内の8町村が18歳までの医療費の無料化に取り組んでおり、本町においても検討すべき課題として強く認識している。

今後の子育て支援を、庁内で検討する子育て村ワーキング会議で子ども条例を中心として関係課と情報共有をしている。来年度からの実施を前向きに検討している。

石橋町長

課長の答弁には、その裏付けがあるということ。一歩踏み込んだ発言だ。

日高議員

学校給食の無償化は、どの子にも平等に支援できる子育て支援策である。

昨年12月の質問では、「学校給食のあり方には

議論をする場が必要」との答弁であった。その思いは今も変わらないか。

石橋町長

学校給食費の問題は、最初からふたを閉じるということはよくない。財源も含めて議論をしていきたい。

日高議員

町内の小中学校の特別教室の約半数に空調設備が整っていない。理科室や家庭科室、図工室などである。今後、空調設備の設置の計画はあるのか。

植田学びのまち総務課長

平成30年度に国の交付金を活用し設置をすすめ、現在は普通教室及び特別支援学級教室は100%の設置になっている。学校と協議しながら、特別教室への設置を検討していく。

### 質問こえの 実態調査は

#### 日高議員

加齢性難聴者を対象に補聴器の購入助成を求めている中で、聞こえの実

態調査を行うことを提起された。実施状況はどうか。

### 答 質問表を 集約中

#### 小笠原医療福祉政策課長

保健課において、後期高齢者の健診対象者に聞こえに関する質問票を送付し集約している。今後、

島根大学など専門的な立場からの助言を受けながら、実態の把握や分析を進めていく予定だ。

#### 日高議員

全国的にも、介護士や看護師の不足や高齢化で

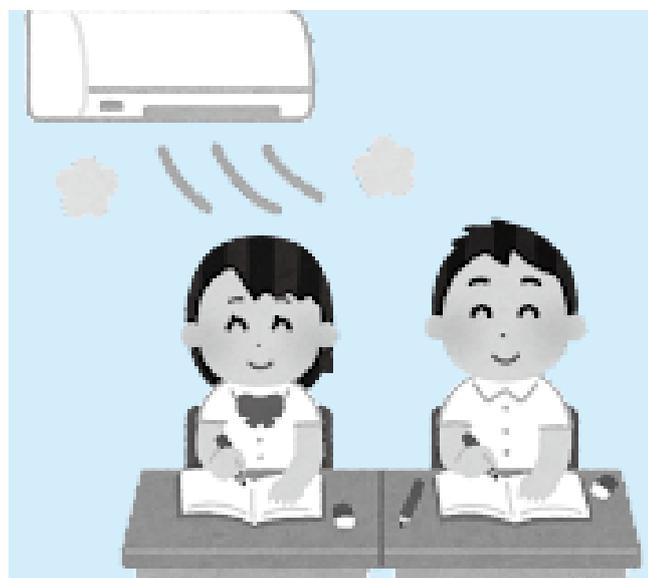
介護事業所の運営が厳しい状況がある。町は今後の対応策など検討していることはあるのか。

#### 石橋町長

全国的には閉鎖する事業所もあり、大変なことだと認識している。あらゆる場で問題提起し議論していく。

### その他の質問

その他に日高議員は、消えかかった道路の白線の整備、防犯カメラの設置、町営墓地の設置を求めました。



特別教室にもエアコンを

みやた ひろし  
宮田 博 議員

# 「まち・ひと・しごと総合戦略」 4年度の取組みは

## 課長 基本目標・KPI達成に取り組んだ



宮田博議員

邑南町まち・ひと・しごと総合戦略2020の効果検証項目にある、邑南町人口ビジョンとの関係では、「攻めのA級グルメ構想、守りの日本一の子育て村構想」の取り組みが、人口減少を緩和したと評価しているが、令和4年度はどのような取組みをしたのか。  
**田村地域みらい課長**  
総合戦略に関連する事業に、地域みらい課を始め、各課で基本目標、KPI達成に、さまざまな事業で取り組んだ。  
特に、人口減少対策に関連する事業として、定住支援、子育て支援、住宅確保対策、教育の充実などで、邑南町子ども条

例も制定した。

**白須産業支援課長**

A級グルメ構想の4年度の取り組みは、食の学校による講座、耕すシェアによる人材育成などの事業を農業や林業振興、企業支援事業と連携して進めた。

宮田議員

効果検証等では、「A級グルメ構想の取り組みは、邑南町に飲食店の増加や、町の認知度向上等の効果をもたらした。」と評価しているが、5年度に入り、A級グルメ構想をなぜ廃止したのか。

**白須産業支援課長**

A級グルメ構想の評価は高まったが、農業分野へのアプローチが限定的で、地域経済への波及効果がみえにくく、町民の皆さんへの理解が進まなかった。  
5年度より、食の視点を保ちながら、地産地消、食育等次の段階に進むこととした。

宮田議員

効果検証等で現在進めている「地産地消」の取り組みの重点化が、A級

グルメの根本・基本でもあるとしているが、A級グルメ構想を何故唐突に廃止したのか。

**石橋町長**

これまでは食の担い手にウエイトをかけていたが、邑南町の基幹産業である農業振興を考えなければならぬ。

A級グルメ構想は止めたということではなく、反省の上で原点に立ち返っていくことであり、食のまちづくりにおいては変わらない。

宮田議員

人口減少を危惧して策定した「邑南町公共施設等総合管理計画」にはどのように取り組んだか。

**上田建設課長**

管理に関する基本的な方針を定めており、維持管理、点検、長寿命化について実施した。

### 問 内部統制の取組みは

宮田議員

内部統制については、本町は自治法で義務化される自治体ではないが、

昨年の9月議会で自主的に取り組むとして、「邑南町内部統制基本方針(案)」を示したが、その後はそのように取り組んでいるか。

### 答 リスク軽減をめざす

**大賀総務課長**

昨年度は、管理職を含む研修会を複数回実施したほか、リスクの洗い出しと、その対策を行うなど、積極的に取り組み、事務ミス防止、業務改善につなげていく。

宮田議員

内部統制とリスクマネジメント体制構築については、いずれの取組みも最高責任者は町長であり、所見を求める。

**石橋町長**

重要な問題と捉えて、着実に進めている。  
職員の意識改革、業務遂行能力向上に向け、町庁内を挙げて実践する問題と認識している。

ひらのいっせい

平野一成 議員

# A級グルメ構想の総括は

## 町長 農業の重要さに思いが至った



**平野一成議員**  
A級グルメと日本一の子育て村をめざしての町の事業総括を問う。

**石橋町長**  
定住、起業・創業、観光など、いわゆる過疎脱却という面では一定の成果があったと思っっている。

半面、町の産業基盤としての農業の課題解決には至っていない。今後は、地産地消を進めるうえで、我々の命を繋いでいただいている農業生産者の皆さんに感謝する気持ちと共有する事が大事であるという思いに至った。来年度しっかり予算立てをして食育を通して、本来の意味での食のまちづくりを進める。行

政が今求められている役割が問われている。

**平野議員**  
今後次のステップとしての「地産地消」の強化を進めるにあたっては、A級グルメ構想の成果はもとより、反省・課題からの気づきを活かして、町民の皆さんと共有して、参加・協力を求めながら事業を推進していただきたい。

**田村地域みらい課長**  
日本一の子育て村をめざしてについては、構想の中で、18歳未満の人口を1800人とする目標としては未達成である。しかし、人口減少の速度が若干低下し、将来人口推計が構想前より若干改善した経緯がある。

事業成果として、町内中学3年生の生徒数が来年度の矢上高校の入学定員増につながった面はあると考えている。新たなキーワードとして子ども育ちという視点に立った子ども条例につながっていることを町民の皆さんと共有できるよう施策を進めて行く。



邑南町男女共同参画サポーターさんとの協議

**問**  
男女共同参画  
どう進めるか

**平野議員**  
男女共同参画社会をめざす施策の現状と今後の課題について問う。

**答**  
更なる  
意識改革を

**秋田町民課長**  
男女の役割分担意識

は、令和3年度の町民意識調査では、社会情勢の影響もあろうが、少しずつ変化してきている。しかし、家事、育児、介護では、女性が担う割合が多く、変化していない。社会通念、慣習、しきたりに依然根強いものがある。

またまた意識改革に向けて施策を進める必要がある。

**平野議員**  
本年6月に成立したLGBT理解増進法は男女共同参画の施策に影響はないか。

**秋田町民課長**  
男性・女性という視点で進めてきた経過からすると、混乱や戸惑いの部分もあるかもしれない。しかし性の多様性を理解し尊重するという、誰もが平等である社会の実現という意味ではめざすところは同じと考える。

**平野議員**  
LGBT理解増進法が、子ども達の学習に与える影響はないか。

**高瀬学びのまち推進課長**  
考え方や取組みなどは現在議論されているところだが、既に性同一性障害への対応など性的マイノリティに関する理解などに取り組んできている。

町教育委員会では自分らしさ、その人らしさを大切にする学校づくりへの基本的な考え方を示し、それを中心に人権同和教育を進めている。

たつたなおひさ

辰田直久 議員

# 道の駅瑞穂

## 改築後の財政負担を明確に

副町長

早急に示したい



辰田直久議員

道の駅事業の現時点での建設から運営体制までの進捗状況は。

田村地域みらい課長

ハード整備は隣接の道路工事、敷地造成は順調に進み、令和6年度にかけて本体、家具備品整備、外構などの工事を実施する予定だが、入札による事業者の選定が遅れている。ソフト事業は集出荷実証実験等を行ない維持管理費を含めて、島根県とも協議を深め、運営計画の確立を図る。

辰田議員

事業計画を示した当初の目的等を果たしながら進められているか不確実なものもある。これまでに度重なる予算や計画の

変更があるので、改築後のランニングコストや跡地計画、指定管理者との負担割合など、町民に係りしての財政負担の額を早急に示すべきではないか。

白須産業支援課長

島根県と町の施設管理の関係に加え、町と指定管理者の委託料などの協議を進める必要があるとともに、収支の概算算定から維持管理などを整理し指定管理料や納付金を検討していくこととなる。現存の道の駅の敷地は、令和8年3月末まで借地契約があり、建物は利用しないが土地は所有者と協議する。

辰田議員

具体的な額や事業計画を示さず建設を進めていくことは行政として無責任ではないか。

日高副町長

当然、町としての財政負担も発生してくるので、運営における管理費用や既存施設の跡地計画を含めて早い段階に示すことが必要と考える。

問

指定管理や業務委託の公平性を

辰田議員

指定管理制度や業務委託の意味を含め、さまざまな事業における委託先の選定基準は。

答

規程に沿った対応を行なう

日高副町長

指定管理は地方自治法及び邑南町の指定の手続きに関する条例に基づいて行ない、指定は公募、非公募問わず申請者の事業計画書、収支予算書などの書類提出をいいただき、内容、申請者の能力、収支計画書等を総合的に審査し、候補者に適切と判断した場合に議会へ提案している。

業務委託は随意契約が可能であり、指名願いなどを通じて入札や見積りにより予算内での選定を行なっているが、金額では判断できない業務については事業提案による能力を判断し選定する場合

もある。

辰田議員

どちらの委託方法においても複数年契約や多額の予算が必要な事業もあり、公募制度や地域地区の考慮など公平性と効率性のある委託は重要である。随意契約についても慎重に行ない、多くの事業者に参加と関心を持っていただき、商工業者等の新規参入を促すような対応を望む。

また、委託先としてふさわしくない事案が発生した場合の対応は厳格にすべきではないか。

日高副町長

業務委託は契約書で取り消し等の規程に触れており、指定管理は条例で

取り消し要件等を定めている。

その他の質問

辰田議員はこの他に、

近隣自治体を含め町内の児童、生徒のスポーツにおける活躍が多く見られるが、コロナ禍における地域交流の自粛ムードの中で、これを好機と捉え、子どもから高齢者までさまざまなスポーツを通じた町の活性化を図るべきだと提案した。

また、町の公用車に「邑南町」の表示を行い、交通安全に繋がるマナーや、事業効率の向上に対応するべきではないかと質問した。

### 指定管理者制度と業務委託の違い

	指定管理者制度	業務委託
法的性格	施設の管理を委託	契約に基づいて業務を委託する
受注者	適任だと思われる法人等	特になし(資格がある場合がある)
受注者の決定	議会の議決が必要	入札または随意契約
事業運営の独自性	管理基準や業務の範囲などは条例で定める	業務は仕様書や契約書で限定
具体例	いこいの村しまね、香木の森、三江線鉄道公園	元気館トレーニングルーム、ケーブルテレビ

の だ よ し ふ み  
**野田佳文** 議員

# タクシー助成に更なる補助を

## 課長 今のところは考えていない

**野田佳文議員**  
タクシー利用助成事業について、通院時は、対象地域の範囲をこえた実費分の補助を提案する。

**田村地域みらい課長**  
対象エリア外への実費分を補助することで利用が増えれば、町からの助成額もさらに増加する。今以上の財政負担が伴う制度の拡充は今のところは考えていない。

エリア内では、タクシー利用助成制度を活用し、エリア外からは、おおなんバスに乗り換えて病院に行っていたり、タクシーとバスを併用しての移動を、これからも市民の皆さんに願っていたい。



**野田議員**

おおなんバスの実証実験のルートについて、霧の湯再開後、田所く邑南町役場く霧の湯の平日3便を提案する。

**田村地域みらい課長**

この路線については、10月から瑞穂矢上線として、ほぼ同じ路線を1日1便増便をして、平日の3往復運行する。役場から霧の湯まで延ばすのではなく、役場で瑞穂インター線に乗り換えていただきたい。

霧の湯再開後、多くの市民の利用があり、要望が強ければ、その便を生活交通で担うべきかどうかも含めて、生活交通検討委員会などの場で議論をしたい。

**石橋町長**

霧の湯再開時には、アソケートや今後の市民の方々の動向も踏まえ、生活交通検討委員会の中で、議論のテーマとして取り組んでいきたいと思っている。

**問** 縄手吹所跡に看板設置を

**野田議員**

久喜銀山遺跡について、山頂部付近に残る地下登り煙道は今後どうするのか。また、国史跡の構成要素のひとつとなった縄手吹所跡の発掘時の様子がわかる看板の設置を提案する。

**答** 設置について検討する

**高瀬学びのまち推進課長**

整備する場合は、史跡整備等の現状変更の取り扱いを記載した保存活用計画について、文化庁による認定が必要である。埋蔵文化財だけでなく、土木や建築の専門家に入ってもらい、長期的な整備計画を策定し、国の許可を得る必要がある。

煙道だけでなく、久喜銀山遺跡を含めた、2000箇所以上ある町全体の遺跡の保存活用と整備費の捻出も含めて考えなければならぬ。今



山頂部付近に残る地下登り煙道

**野田議員**

久喜銀山遺跡の広島広域都市圏でのPRはできているのか。

**田村地域みらい課長**

邑南町の重要な史跡であり、PRに努めたい。

**白須産業支援課長**

PR媒体について積極的活用の準備を進めている。

## その他の質問

**野田議員**は、インバウンドについて、再整備後の「道の駅瑞穂」の情報発信について質問しました。

なかむらまさふみ

中村昌史 議員

# 「地域コミュニティのあり方基本方針」 どう取り組むか

町長

## 最大限に尊重したい



中村昌史議員

地域コミュニティのあり方検討委員会の報告書が提出された。これを読み解きながら、今後の取り組みについて問う。

持続可能な地域コミュニティの仕組みとして、地域運営組織の必要性が述べられている。これについての認識を問う。

田村地域みらい課長

町としても、持続可能な地域づくりのために、地域運営組織は必要なものとの認識をしている。

中村議員

地域運営組織の具体的な仕組みづくりで、常設の事務局機能、地域マネージャーの配置などと合わせて実際の活動拠点として、公民館のコミュニ

ティセンター化が掲げられている。今まで、公民館の多機能化などの議論をしてきた中で、教育委員会からはあくまでも社会教育法に基づく公民館を前提とした答弁であ

った。こうした中で、コミュニティセンター化をどう進めていくのか。

田村地域みらい課長

町としては、現在12地区それぞれにある公民館を活動拠点として、地域づくりと人づくりを一体的に行うことが望ましいと考えている。

それぞれの地区で、それぞれにつくっていくことを考えている。極端に言うところ、12通りということもあり得る。

その中で、社会教育機能としての活動が続けられると考えている。

中村議員

施設としての公民館の維持管理と、社会教育と



邑南町地域コミュニティのあり方検討委員会 報告書

邑南町 地域コミュニティのあり方基本方針

令和5年7月24日

邑南町地域コミュニティのあり方検討委員会

検討委員会から答申された報告書。町ホームページからダウンロードできる他、各支所、公民館でも閲覧できます。また、内容を要約した概要版もあります。

しての公民館活動の管理は分けて考えることはできないか。

田村地域みらい課長

いろんなパターンを検証しながら、その地区ごとに考えていく。

大橋教育長

人づくりという観点から、社会教育という機能は残していきたい。

中村議員

次に、地域運営組織の設立、運営に対する町の支援が必要だと述べられている。町として、具体的にどのようなことを想定しているのか。

田村地域みらい課長

町としては、設立、運営の伴走支援が必要であ

ると考えている。

具体的には、設立、運営に対する手引書が必要になる。これを作成して、早めに示したい。

設立後の運営経費も、現在の自治会活動補助金をベースに、検討する必要があると考えている。

中村議員

総務省の資料によると、地域運営組織の持続的な運営に向けての課題の一番は人材確保となっている。

以前にも提案したが、地域マネージャーに適する人材を、役員職員の中から庁内公募するとか、地域おこし協力隊を活用

した地域マネージャーの育成なども検討すべきだ。

今後の取り組みについて町長の見解を問う。

石橋町長

今回示された「地域コミュニティのあり方基本方針」を最大限に尊重していきたい。

何よりも「地域住民が主役」「多様な主体の参加」「安心、安全に過ごせる」この三つの要素が謳われていることについて評価したい。

スタートに当たっては、住民の合意形成が大事であり、そこをしっかりと説明していく責任があるし、スタートしたならば継続性が大事である。それについて、人材確保と財源が大事な要素である。それらについては、

行政も一緒になって取り組んでいくと約束する。町内12地区でそれぞれ環境が違う。さまざまなパターンで、できることから進めていくことが大事であるし、その中には社会教育の機能も担保していきたい。

町内12地区でそれぞれ環境が違う。さまざまなパターンで、できることから進めていくことが大事であるし、その中には社会教育の機能も担保していきたい。

## 議会広報公聴常任委員会

# 埼玉県寄居町を視察

9月の定例会を目前に控えた8月の末に、広報公聴常任委員会で、東京、埼玉に視察研修に出かけました。

1日目は、他町村の広報紙を専門家が診断するというクリニックの研修です。

広報誌は、手にとって、

読んでもらわないと意味がないのですが、全般的に文字が多すぎて読みづらいとか、雑然としていて分かりにくい、議会用語が多く読む気にならないなどの課題が指摘されました。

翌日は、何度も広報紙のコンクールに入賞して

いる埼玉県寄居町議会を視察しました。

こちらでは「読んでもらえない広報紙に意味なし」を編集方針に掲げ、町民目線で分かりやすく、かつ関係する町民にインタビュアーに出向き、声を写真と名前入りで掲載しています。詳細はQRコードでネットへ誘導し、紙面を有効に使うなど、工夫を凝らしています。

「徹底的にパくる、略

して「TTP」をモットーに、世の中のあらゆるメディアから、アイデアをパクって来るのだそうです。インパクトのある表紙や、読者を引き込むアイデアが満載です。

今回の視察研修の内容を活かし、これから少しずつでも変えて行きたいと思えます。見ていてください。



寄居町広報公聴委員の皆さんと

## 第16回 議会意見交換会を開催

8月2日、7日、8日に町内各公民館で議会意見交換会を開催しました。たくさんの方の意見が寄せられました。

主な内容は次のとおりです。

- いわみ温泉霧の湯の改修はどのようなものか。
- 地域コミュニティのあり方基本方針が示されているが今後の方向性はどうか。
- 公共施設のあり方を町民に知らせるべきだ。

8月2日、7日、8日に町内各公民館で議会意見交換会を開催しました。たくさんの方の意見が寄せられました。

主な内容は次のとおりです。

- 全国学力テストの結果を公表すべきだ。
- 行政の課名が、何をする課なのか町民にはわかりにくい。
- 危険空き家の対策は。
- A級グルメ構想、日本一の子育て村構想、しごとづくりセンターについて、事業の成果を町民に対して公表すべきだ。
- 新電力会社のメリット、デメリットについて町民説明すべきだ。
- 道の駅瑞穂への農産物



出羽公民館での意見交換のようす

### 参加者数

開催場所	参加者
□羽公民館	8
井原公民館	8
中野公民館	3
矢上公民館	12
出羽公民館	10
日貫公民館	19
布施公民館	7
市木公民館	6
阿須那公民館	10
日和公民館	7
高原公民館	6
田所公民館	9
合計	105

確保には、生産者の育成が重要だ。

● 今後の農業施策は。● 大型建設工事に町内業者が受注に難しいものがある。

● 小学校の統廃合に不安がある。

町民のご意見、提案は貴重であり、重く受け止めます。ありがとうございます。

# キラ☆サポと意見交換会

令和5年9月19日(火)  
午後7時から田所公民館  
で議会出前講座を行いま  
した。参加者は11名と議  
員4名でした。

キラ☆サポさんは、町  
内で男女共同参画に関し  
ての活動をされているグ  
ループです。

男女平等と言いなが  
ら、まだまだ男が強い現  
状をどうやって変えてい  
けばよいか。地域の会合  
や行事でも男性主導だけ  
ど、女性ももっと発言す  
べきだ。家事や育児も、

女性でなくてもできる者  
がすればいい。世の中は  
女性の犠牲の上に成り立  
っているのでは。など、  
皆さんの思いが飛び交い  
ました。

アツという間に予定時  
間を過ぎて終了しました  
が、片づけをしながらも  
その後もおしゃべりは止  
まりません。

寝もたけなわですが：  
の掛け声でやっとみなさ  
ん解散しましたが、時間  
が足りませんでしたね。  
お疲れさまでした。また



活発に意見を交わしたキラ☆サポとの意見交換会

お会いしましょう。

キラ☆サポさんは、興  
味のある方に声を掛け合  
って集まっておられま  
す。輪が広がり、女性の  
地位が向上することを望  
みます。

地域の皆さん、出前講  
座をぜひ活用してくださ  
い。お申込みは議会事務  
局まで。

## 今年度の町民議 会は中止します

令和4年度はたくさん  
の参加があり、意義ある  
町民議会でした。目的は  
議会に関心を持ってもら  
えるよう開催しました。

町議会たより「おおな  
ん」85号において、今年  
度も町民議会を開催する  
意向を示しました。

しかし、今年度の開催  
を執行部に依頼したところ、  
今年度は諸事情によ  
り、対応は困難との回答  
があり、今年度は中止す  
ることに決定しました。

## 三階席

平成25年に町議会議員  
の議席をお預かりして10  
年が経過しました。その  
間何度か一般質問に立  
ち、質問や提案などを重  
ねて参りました▼今回の  
9月定例会での私の一般  
質問中に議場の中が急に  
ざわつき始め何事かと思  
っていると、議長の「暫  
時休憩」の一言。そし  
て私と副議長、議会運営  
委員長が議長席に呼ば  
れ、誤解を生む恐れのお  
る発言があったとの指摘  
を受けました▼一般質問  
での初めての出来事に戸  
惑いしましたがその場でお  
詫ひし、訂正を申し上げ  
ました。議会最終日に  
は、改めて発言の訂正を  
申し出て会議録からの削  
除をお願いし、了承いた  
だきました▼議会の中で  
の発言の重さを改めて認  
識し、普段の会話におい  
ても意識しなければいけ  
ないと感じた出来事でし  
た。

(一成)

### ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議会のことについてご  
意見、ご質問などがございましたら、気軽に  
ご連絡ください。

### 議会の傍聴にお越しください

12月定例会は、12月4日からの開催を予  
定しています。一般質問だけでなく、全員協  
議会などすべての議事が傍聴できます。お気  
軽にお越しください。

お問い合わせ先：議会事務局  
TEL：0855-95-1113  
I P：050-5207-3021

## お気軽にどうぞ



中野から「あゆみの会」の皆さまが傍聴に来られました。  
皆さんもぜひ傍聴にお越しください。

# こちら日貫「一步の会」です



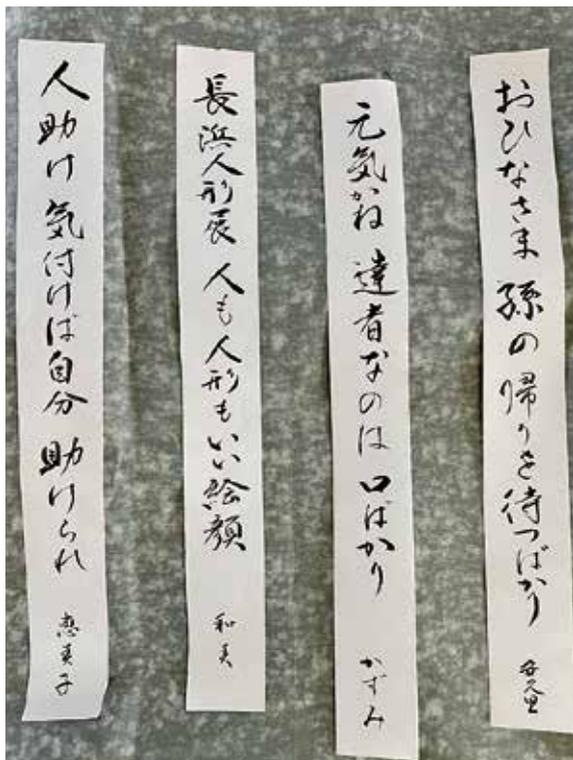
## 男女共同参画ってご存知ですか？



快くインタビューに応じて下さった「一步の会」の皆さん  
(左から、上田さん、鶴岡さん、福屋さん)

日貫では、平成24年に男女共同参画のサポーターとなった鶴岡和美さんを中心に16名の方が集まって、「一步の会」を立ち上げられました。男女問わずそれぞれの得意分野や個性を生かし、助け合い思いやりという、男女共同参画をめざす会です。

高校生を対象に郷土料理教室を開催し、その後みんなで男女共同参画啓発カルタで遊ぶ交流や、地元独自の長浜人形の展示、川柳教室など、活動は多岐に渡り、参加者も子どもから年配者までと多彩です。



達筆な筆遣いで読まれた川柳

「男性だから、女性だからじゃない。あなたの得意な事で、できる事をすればいい。難しい話ではない。それだけのこと。人としてみんな対等なんだよ」

「今後は日貫だけでなく、町内の色々な会との交流もして、思いを共有できる仲間を増やしたい。みんながお互いを認め合い、助け合い、尊重

づつ、ちょっとづつやってみようと、地域のみなどで楽しめる事をされています。

し合える世の中にならなくちゃね。その為には、まずは自分から変わらなくちゃね」

と、鶴岡さん、上田さん、福屋さん。

ですが、会のメンバーで男性は1人だそうです。さまざまな立場の方が参加される会になればいいですね。

とっても元気で前向きでチャームキングな一步の会の皆さんに、勇気と希望をいただきました。

聞き手 鍵本あき

### 編集室の窓



音声を自動でテキスト化した文書と音声聞きながら、議会議案などの一般質問の原稿を書いています▼今回、文書を読み進めるうちに、ある部分で当日の情景を思い浮かべました。用意した原稿にはなかった部分、一般質問中に町民の熱い想いが浮かび、感極まってしまった瞬間がありました▼質問を続けなければならぬという想いと、このまま続ければ涙が出てしまうかもしれない…耐えなければ、と壇上に立っていました。何とか涙を抑えることができましたが、ある議員には気づかれ、執行部でも気づいた方がいました▼歳とともに涙もろくなっていることは実感しています。一般質問中に感情を抑え切れなくなるとは、自分でも驚きました▼どこで感極まったのか、それは秘密です。

(野田佳文記)